

JICA は香川大学とトルコ共和国ゲブゼ工科大学との国際共同研究を採択決定。




トルコ共和国で地震被害軽減のための耐震化技術の開発と普及に貢献する。

地球規模課題の解決に向けた科学技術協力～2022年度採択結果の発表

国際協力機構（JICA）は、今年度「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）※1」の採択結果を発表。四国地域からは、香川大学の事業を新たに採択しました。

本事業は、我が国と同様の地震国トルコにおいてゲブゼ工科大学のマルマラ地震工学試験センター（MARTEST）と連携し、北アナトリア断層に関わる地震リスクが高まる中で被害軽減のための耐震化技術の開発と普及に大きく貢献することを目指しています。本事業で開発する新技術は、トルコのみならず、近隣諸国においても災害に強い耐震都市の形成に大きく貢献します。本事業では新たな技術開発のみならず、DXを用いた減災教育システム開発を実施する等、MARTESTを通じて、トルコおよび周辺国への香川大学の持つ知見の普及や、教育活動にも力を入れたプロジェクトとなっております。

大学の先生へのご取材も調整可能です。ぜひ取材をご検討ください。

日本側研究機関	相手国研究機関	事業名	SDGs 項目
香川大学 研究代表者： 金田 義行 特任 教授/学長特別補 佐	ゲブゼ工科大学	災害に強い社会を発展させるためのトルコにおける研究と教育の複合体の確立—マルテスト (防災領域)	  

<※「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）」とは>

SATREPS は、外務省と文部科学省の支援のもと、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）と JICA が連携して実施し、日本の優れた科学技術と ODA との連携によって、開発途上国との科学技術協力、科学技術外交を推進するプログラムです。環境、カーボンニュートラル、生物資源、防災および感染

症といった地球規模課題の解決に向け、課題の解決につながる新たな知見・技術の獲得やイノベーションの創出、さらには開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図ることを目的としています。2022年度は、12件の事業が採択されました。2008年度の事業開始以降、採択事業数は計179件、実施国は53カ国となります。

2022年度「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）」新規採択案件の決定について：https://www.jica.go.jp/press/2022/20220519_41.html

SATREP 概要：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/summary/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室 中島由希子
TEL 03-5226-8105 e-mail : gpgsd@jica.go.jp